

### 第 111 回 薬剤師国家試験の結果について

令和 8 年 2 月 21 日（土）および 22 日（日）に実施された標記国家試験の本学における合格率は、前年度から 25 ポイント以上アップして 76.7%となりました。

全国平均の 86.2%には届かなかったものの、大きな改善が見られました。

昨年度は、従来の国家試験対策講義に加え、模擬試験の結果に基づいて弱点克服を図る「ワンランクアップ講座」を開催しました。また、学生一人ひとりが学習目標を設定し、その進捗を定期的に報告する仕組みを導入することで、学習状況を可視化し個々の課題に応じた支援体制の構築に取り組んでまいりました。一方で、この講座による学習内容の定着や支援体制に基づいた指導の最適化においては、さらなる改善の余地があると考えております。

今年度は、これまでの取り組みをさらに深化させるとともに、薬学部委員会として、新たに「国家試験対策委員会」を設置いたしました。本委員会が対策講義や模擬試験の運営等を担い、薬学部全体で組織的に国家試験対策に取り組むことで、国家試験合格率の更なる向上を目指してまいります。

### 第 72 回 臨床検査技師国家試験の結果について

令和 8 年 2 月 18 日（水）に実施された標記国家試験の本学における合格率は、54.5%であり、昨年度と同率でした。

全国平均の 93.3%を下回る結果となり、本学としてこの結果を重く受け止めています。

昨年度は「合格率改善プロジェクト」により、出題傾向を踏まえた模擬試験や延べ 53 コマの補講、「一日一問」の継続課題を通じて学習支援を実施し、直前期には成績向上も確認されました。一方、学習状況の把握や早期からの継続的な支援が十分ではなかった学生において、不合格となるケースが見受けられたことから、教員による積極的な関与の重要性が改めて明らかとなりました。

今年度は全国平均並みの国家試験合格率を目標に、毎月の本番形式の模擬試験と結果に基づく個別指導・補講を強化します。さらに、学習状況の定期把握と早期支援を徹底することで、自律的学習基盤の確立と着実な学力向上を図ってまいります。

### 第 39 回 臨床工学技士国家試験の結果について

令和 8 年 3 月 1 日（日）に実施された標記国家試験の本学における合格率は、57.1%であり、昨年度と同率となりました。

一方で、全国平均合格率 65.7%をやや下回る結果となり、本学としてこの結果を重く受け止めています。

昨年度の主な取り組みとして、最新の国家試験傾向に対応した対策講義の実施に加え、学生同士の学びを促進することを目的としたグループワーク形式の国家試験演習を導入しました。その結果、近年の出題傾向に合わせた知識の整理や応用力の強化が図られたほか、学生同士が得意分野を教え合いながら主体的に学習に取り組む姿勢がみられるようになりました。

しかしながら、全国平均を下回る結果となった要因として、個々の学生に対する学習支援およびフォローアップが十分でなかった点が挙げられると考えています。

今後は、国家試験合格率 100%の達成に向け、学習到達度を点数により可視化し、目標を明確化した学習を推進するとともに、学生一人ひとりの課題に応じた個別学習計画を毎週

策定・実施します。これにより、学生に寄り添ったきめ細かな学習支援体制を構築し、教員一同一丸となって教育の質向上に取り組んでまいります。

#### 第 49 回 救急救命士国家試験の結果について

令和 8 年 3 月 8 日（日）に実施された標記国家試験の本学における合格率は、前年度比 4.6 ポイント増の 100%（全国平均 94.9%）を達成しました。

昨年度は模擬試験の実施と双方向型の問題分析、学生同士の教え合い、定期的な理解度フィードバックや個別解説を通じて主体的学習を促進しました。また、個別指導や分野横断型模擬試験、昼夜を問わず勉強できる学習環境を整備したことが全員合格に繋がりました。

今年度は、全員合格の継続を目標に、状況設定問題対策の強化や毎週 1 回の模擬試験、データに基づく進捗管理に加え、ゼミ活動や面談等による学習・メンタル両面の支援を充実させ、継続して自律的学習を支援してまいります。

#### 第 4 回 愛玩動物看護師国家試験の結果について

令和 8 年 2 月 15 日（日）に実施された標記国家試験の本学における合格率は、本学動物危機管理学科では 3 名が受験し、合格率は 66.7%（全国平均 88.1%）となりました。少人数での受験であることから結果が数値に与える影響は大きいものの、今回の結果を今後の支援体制の充実につなげる機会として受け止めております。

本学では、「愛玩動物国家試験対策講座」の開講をはじめ、オンライン模擬試験の活用や、対面形式を含む 3 回の一斉模擬試験を実施するなど、学習環境の充実に取り組んでまいりました。一方で、より早期から学習意欲を高める支援の必要性が課題として明確になりました。

今年度はこの反省を踏まえ、全国平均合格率を上回ることを目標に、国家試験対策教員の増員、教材の見直し、学習進捗確認とフィードバックの徹底など、支援体制を強化してまいります。教職員一丸となり、学生一人ひとりの合格を全力で支えてまいります。

#### 第 115 回 看護師国家試験・第 112 回 保健師国家試験の結果について

令和 8 年 2 月 15 日（日）に実施された第 115 回看護師国家試験の本学の合格率は、87.7% となりました。また、同年 2 月 13 日（金）に実施された第 112 回保健師国家試験の合格率は、66.7%（全国平均 89.9%）でした。看護師国家試験は昨年度と同率でしたが、全国平均の 94.1% を 6.4 ポイント下回りました。国家試験対策は 1 年次から継続的に実施していますが、昨年度は特に、4 年次の試験対策をこれまで以上に強化しました。具体的には、専門講師による特別対策講座の開講、教員によるマンツーマンの個別指導・学習相談、定期的な学内模擬試験を実施しました。学年全体の模擬試験の結果は確実に上昇していましたが、本番では全国平均に一步届きませんでした。

今年度は、学生同士で高め合うグループ学習を積極的に取り入れ、保護者とも連携しながら、学生と教職員一丸となって国家試験合格率 100% を目指してまいります。

保健師国家試験合格率は昨年度より 2.1 ポイント下回る結果となりました。昨年度の合格率が全国平均を 20 ポイント以上下回っていたことを踏まえ、今回は国家試験対策を強化し、10 月末から国家試験直前まで、全体講義、グループ指導、個別指導を例年以上に実施しましたが、過去最低の合格率となりました。模擬試験で B・C ランクであった学生が不合格となったことが挙げられます。これは、国家試験問題の傾向が変化し（全国平均合格率も昨年度より 7 ポイント低下）、過去問題の反復学習だけでは十分に対応できなかったこと、また

学生一人ひとりの弱点に応じた個別指導が十分ではなかったことが影響していると考えられます。一方で、模擬試験でD・Eランクであった学生が合格したことについては、国家試験直前まで毎日個別指導を受け、粘り強く学修を継続した成果であると考えられます。看護師国家試験対策を優先する中で、保健師国家試験との両立に苦慮する学生も多い状況ですが、今回の結果を踏まえ、4年次春学期の公衆衛生看護科目の授業内において、より早期から国家試験対策に取り組んでまいります。